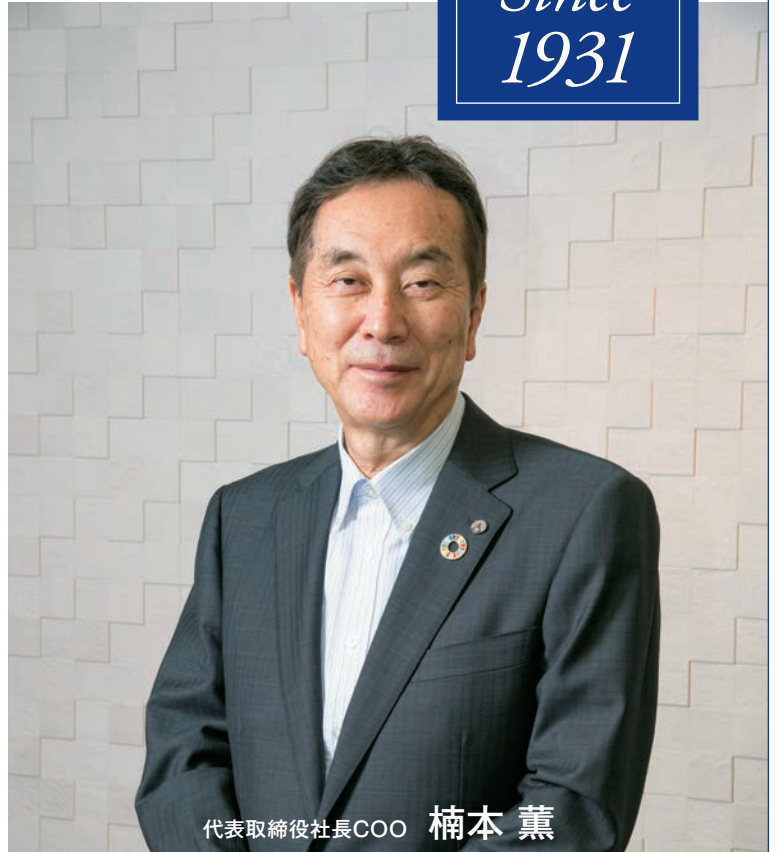


Since
1931



代表取締役社長COO 楠本 薫

製品開発力で成長し グローバルニッチトップに

1931年、アルミ箔・板のメーカーとして創業し、2021年に90周年を迎えた東洋アルミニウム。素材から加工製品サービスまで幅広く提供し、世界トップクラスのシェアを持つグローバルメーカーとして確固たる地位を築いてきた。

世界に競争がひしめく中にあって、同社が今日まで成長してきた理由は、その高い開発力

にある。「お客様のニーズに応えて機能性、意匠性を追求し、他社にはまねできない高付加価値の製品を創り出してきました」と代表取締役社長COOの楠本薫氏は明かす。同社は現在、4分野に事業を展開。いずれも競争力の高い基幹製品を持ちながら、つねに新しい機能や用途を探索し、製品開発に挑んでいる。

アルミの技術を強みに 新たな機能・用途を開発

まず箔事業は、厚さ6〜200μmまで自在にコントロールする高度な技術で、主に食品や医薬品などの包装材料を製造してきた。最近主力となりつつあるのが、自動車や電子機器向けの高性能材。中でも注力するのが、リチウムイオン電池の外装材用アルミ箔だ。「電気自動車の普及拡大、パソコンやタブレット端末などの需要の高まりを背景に、ニーズが高まっています」と楠本氏。電池の外装材は、アルミ箔にフィルムなどを貼り合わせて作られ

アルミ技術を礎に 新たな価値を創造 100周年を目指し 成長し続ける

東洋アルミニウム

創業以来、90年にわたりアルミの可能性を追求し、アルミ箔、パウダー・ペースト製品、日用品、太陽光発電の部材まで、社会に有用で、環境にやさしい製品を開発し社会に貢献してきた東洋アルミニウム。「未来を創る、私が創る、みんなで創る」というスローガンのもと、コア技術を生かした自由な製品開発を通じて、アルミのみにこだわらない高性能素材メーカーへの成長を目指している。



リチウムイオン電池の外装材に用いられるアルミ箔

る。同社は異素材とも高い密着性を実現する高品質のアルミ箔を提供し、一気にシェアを拡大した。「需要に応えるため、23年までの投資計画はすでに動いています」。

2つ目のパウダー・ペースト事業において長年強みを発揮してきたのは、自動車のメタリック塗装用のアルミペーストだ。近年は、半導体などの電子部品の放熱用途でも売り上げを伸ばしている。

さらに最近、製造業界で急速に普及が進む金属3Dプリンター市場に打って出た。金属3Dプリンターは、航空関連や自動車・バイクなど高い精度や強度が必要な部品に多く用いられ、材料のアルミニウム合金への品質要求も極めて高い。顧客のニーズに適した粉体の形状や粒径、合金組成を実現し、しかも安定した品質で提供できる同社は国内では希有な存在だ。成長可能性の高い市場で、シェア拡大を目指している。

3つ目の日用品事業では、家庭用アルミホイル「サンホイル」や業務用に食品容器などを提供している。アルミにこだわらず、異素材、多用途の開発にも意欲

的だ。「その一つが不織布素材のフィルターです。台所の換気扇用に開発し、近年はエアコンや空気清浄機、通気口などの防塵用にも用途を広げています」。

最後の新事業では、培ってきた技術をこれまでにない分野へ応用する。フィルムに金属粉末を混合し、水素を発生させることで生鮮食品の変色を防ぐ包装フィルム「ハイドロフレッシュ」やアルミ粉体を練り込んだアルミ樹脂製ギプス「サーマルギプス」といったユニークな製品を開発。ステンレスフレックを使った防錆塗料「ステンシエル」を開発し、塗装サービスまで手がける新事業も創出している。

100周年を見据え 組織改革を実行

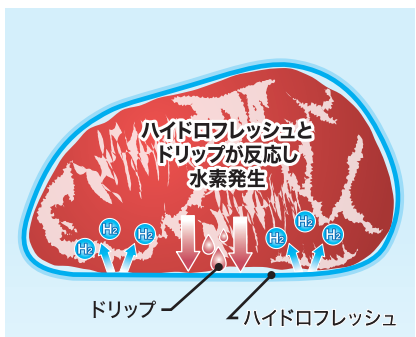
同社は20年4月から「MXプロジェクト」と称した経営プラットフォーム改革プロジェクトを進めている。長年の間に硬直化した組織・制度を変革して自律型組織へと生まれ変わり、挑戦する土壌や意欲を盛り上げるのが狙いだ。

まずその旗印として、若手・中堅社員が中心となって新たな経営

理念として「Mission、Vision、Value」を策定した。また能力評価制を導入するとともに組織改革を実行。部課制からユニット・チーム制にして組織をフラット化し、横連携や双方向のコミュニケーションの活性化を図った。さらに目標管理指標として取り入れたのが「OKR (Objectives and Key Results)」だ。「150のユニット・チームがおのの『目指す未来の姿』を描き、

全社で共有する機会をつくっています。互いに刺激し合い、成長を促すきっかけになれば」と言う。プロジェクト開始から2年、次はその成果を顧客価値の最大化や生産性向上、ひいては業績向上につなげていく。

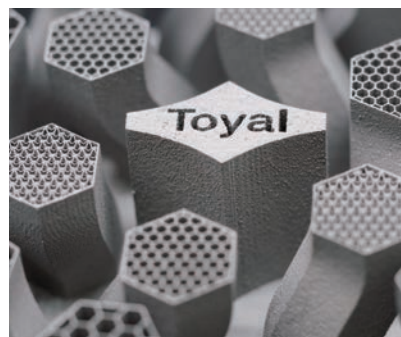
90周年を経て、楠本氏は早くも10年後を見据えている。「今後もお客様のニーズをつかみ、その期待を超える製品を提供していきます。アルミニウムの確かな技術があるから異素材や既存の枠にとらわれない製品、サービスに結び付け、当社にしかない価値を提供できます。それを国内はもちろんグローバルにも展開していきます。またSDGsへの貢献や社員にとって働きがいのある職場づくりも重視し、100年、200年と発展し続けていきます」と決意を見せた。



水素を発生させるフィルム「ハイドロフレッシュ」は、肉の変色を防ぐ効果がある



不織布を用いたフィルター製品や家庭用アルミホイルなど



3Dプリンター用アルミニウム合金粉末を使用した造形品